

## 令和 7 年 市政ふれあい懇談会要旨

■開催日時 令和 7 年 5 月 11 日（日）10 時～12 時

■開催場所 新木近隣センター

■参加者 市民 13 名

■出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長  
大井環境経済部長、海老原建設部長、中場都市部長、担当課長等 17 名

### ●道路の街路樹剪定・南新木の調整池について

市 民：南新木を東西に走っている道路の街路樹について、以前から要望を出しているのですが、対応がなされていません。枯れた木もあり、歩道にはみ出している箇所もあります。布佐の平和台や湖北の通りのように早急に対応していただきたいと思います。

建設部長：街路樹の管理についてのご要望ということですが、大変ご迷惑をおかけいたしました。街路樹の剪定につきましては、市内全域で計画的に実施しております。ご指摘の場所については、担当課からご説明させていただきます。

道路課長補佐：街路樹の剪定計画は、3 年に一度の周期で実施しています。ご指摘の道路は、やすらぎの道だと思いますが、令和 5 年度に剪定を行いました。次回は令和 8 年度の予定です。現地の確認はさせていただきますが、通行に支障がある場合や街路灯にかかって暗くなっているなどの場合には、対応を検討いたします。

市 民：枯れた木もありますし、歩道にはみ出している箇所もあります。以前から要望を出していますが、対応が遅いです。

道路課長補佐：申し訳ございません。現地確認をさせていただき、必要な対応を検討いたします。後ほど、ご連絡先をお聞かせください。

市 民：もう一点ですが、南新木の調整池について、今は草が伸びてしまっています。前はたまに整備していたようですが、定期的にきれいにしてほしいです。

建設部長：調整池につきましても、担当課で確認し、現地立会いなども含めて対応を検討させていただきます。

市 民：常時水がたまっているわけではありませんが、大雨時の対策として必要です。最大限の対応をお願いします。

市 長：調整池も現地確認させていただき、必要な対策を検討いたします。水が無い時の活用について太陽光パネルも検討しましたが、他市の情報を聞くと太陽の光が反射して周辺住民に影響が出るため、難しそうです。街路樹の管理と合わせて、調整池の管理、活用など、皆様の生活環境の確保に努めてまいります。

#### ●実証運行バスについて（布佐駅から天王台駅に行くルート）

市 民：実証運行バスについてですが、布佐駅から天王台駅に行くルートについては、天王台駅まで大体 27 分近くかかります。成田線は、朝 20 分に 1 本あり昼間でも 30 分に 1 本あります。時間がかかるようでは、バスの利便性がありません。それであれば成田線を待った方が早いと感じます。そのため利用者が減っているのではないかと邪推をしている状況です。以前は、湖北駅ロータリーまで入っていなかったのが時間が早かった。時間調整があることも遅くなった要因ではないでしょうか。ルートについても、かじいけ公園、NEC、川村学園大学を經由して青山台を通り、天王台北口に着くということで遠回りしているようです。多分、青山台で人が乗るので、そのようなルートにしたのかもしれないですが、この地域の住民にとっては、成田線の補完になっていないと思います。所要時間が長くなってしまっているのが、ルートを前のように戻してほしいです。湖北駅に行くのはあびバスにするなど、検討してほしいと思います。市の負担も長くは続かないと思いますので、今後の計画についてお聞きしたいと思います。

市 長：国道 356 号を通るルートは、信号が多く道路の幅も狭くて、まっすぐ走っても時間がかかります。信号が無い直線道路を予定しておりましたが、国道 356 号沿いの新木、布佐を走る路線バスが廃止されてしまいました。そこで、この路線を確保するために、シャトルバスよりも路線バスの維持に優先順位が変わってしまいました。布佐・新木の住民は成田線を待った方が早いという方々がいるのは確かです。

す。しかし、高齢化が進んでおり、駅と駅との中間地区に住んでいる方々からすると、国道 356 号を通る路線の維持は必要だと思います。また、バスを運行しルート変更や時間帯を増やすとなると、運転手も必要です。運転手不足や労働時間規制の問題もあり、運転手は倍の人員が必要になります。今は、テスト期間ということで、市民の皆様からのご意見を聞きながら、今後最終ルートを決定していきたいと思っています。

なお、赤字路線であるので、阪東バスさんも撤退しましたから、運行を維持するためにも、多少の運賃値上げはあります。以前から要望のあった布佐上町にバスを通しながらどこまでの路線が必要なのか、検討していきますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

### ●ゴミカレンダーについて

市 民：ゴミカレンダーについてです。昨年と言い回しが変わり、今年のカレンダーには、「8 時半までに決められた集積所へ出してください。」という命令口調になっていました。すごく良い事です。そういった啓発をもっと行ってほしい。ゴミは、集積所の網の中に入ってゴミとなるので、きちんと出してほしいと思っています。また、外国人居住者への対応も含めて、啓発活動を強い姿勢で指導していただきたいと思っています。

環境経済部長：ご意見ありがとうございます。詳しくは担当からお話いたします。

生活衛生課長：ご意見ありがとうございます。私どもといたしましては、ゴミの取り扱いについて知ってもらうきっかけを作ることや、集積所は地域の皆さまのご協力により運営が出来ていることなど、市としてサポートが出来ることなどを日々考えております。ゴミカレンダーについても、ご意見をいただきながら改善し、英語表記を一部導入するなど改善を進めています。外国人居住者が増加していることも踏まえ、ゴミ出しルールの周知と啓発を続けてまいりますので、今後ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### ●ゴミを出す際の指導・布佐小学校入口付近の土地について

市 民：ゴミについての補足です。カラスがどうしても邪魔をします。住民は順番で

班長をしまして、基本はルールを守っているのですが、一部守れていない方がいると、そのゴミをカラスが荒らします。そのために、もう少し市の方で一人一人に自覚を促すようにしてほしいですし、外国の方にも指導してほしいです。また、布佐の小学校入口工事付近の樹木を伐採しているようで、周りの土地を開発するのも市なのでしょうか。

市長：外国人は、3,700 人ぐらい我孫子市に住んでいます。もうすぐ人口の 3%ほどになります。こういった問題の理由としては、市内に日本語学校があるのと、布佐の栄橋の先にある茨城県のウェルネス大学に通う学生が布佐に多く住んでいるようなことが考えられます。布佐地区でも、ゴミ問題や公園での宴会、そのゴミについてもご意見をいただいているところです。多様な人種が増えている中で、トップはネパール人で次いで中国人です。市としては、日本語学校や、ウェルネス大学にも指導をしてもらうように伝えました。しかし、日本語学校は入れ替わりが多く、先輩からの引継ぎも少ないように感じます。改めて、今年も学校等に日本での生活習慣の指導をお願いしまして、今後も続けていく考えです。ご質問の件ですが、国道 356 号から布佐小学校に入っていく道路は市道になります。国道 356 号側の敷地については、県が歩道の拡幅を進めていて、ご指摘の土地については、地主はすべての土地を市で買ってほしいと言っています。そういった中で、布佐小学校・中学校は、小中一体型の義務教育学校として建て替えを検討しています。その土地については、学校の駐車場として、修学旅行などの大型バスを使用する際のバス停や職員・保護者の駐車場として活用する予定です。また、近くにある宮ノ森公園へ行く道路がとても狭いので道路拡幅用地にも活用できると考え、地権者さんと協議を行っている状況です。

#### ●布佐小学校入口交差点の信号について

市民：関連ですが、新しくできた布佐小学校入口交差点の信号について、感応式ではないため、交通の流れが定期的に止まってしまうので、新木団地前の信号機のように、感応式も検討してほしいと思います。

建設部長：信号については、警察と協議を行い警察が設置することになります。また警察からは感応式はやめてほしいと言われていまして、一定時間で変わる信号機と

なった経緯があります。聞いた話ですと感応式は壊れやすいというところがあり、警察としてはあまり設置しない方針とのことでした。

市長：信号や交差点は、警察との協議があり対応に苦慮している部分があります。それは、信号や交差点は警察の管轄だからです。子ども達の安全の為、布佐小学校入口の交差点に信号は必要ということで設置しましたが、ご指摘のように、昼間はあまり出入りが少ないことから感応式が良いというご意見はわかりますが、今、部長が話したように、警察が決定します。私も市内の他にも感応式でいいと思うところもあります。今、下ヶ戸中里線ですが、新たに消防署が建てられる場所から田んぼへ抜ける新たな道路についても、交差点の形状について協議していく部分がありますので、こちらをあわせて警察にご要望を伝えたいと思います。

#### ●広報あびこについて

市民：県営住宅から国道 356 号線に入る交差点について、信号と矢印をつけていただきありがとうございます。また、雨の日に車の水しぶきが上がる箇所についても補修工事が5月の連休明けから始まるとのことです。こちらもお対応ありがとうございます。質問ですが、新木近隣センターでは機関紙を発行しています。3,900部発行して、自治会に配布をお願いしているところですか。市で発行している「広報あびこ」は、新聞に同封していると聞きました。新聞を取っていない人にはどう対応するのかお聞きしたい。

企画総務部長：我孫子市には6万を超える世帯がございます。広報の配布は、基本的に新聞折り込みサービスは継続しております。また、郵送を希望する方には、宅配のサービスを行っています。他には、デジタル版を導入し、登録いただければ皆様にお届けするというプッシュ型のサービスを、今年度から開始する予定であります。その他については、駅や郵便局、近隣センター、公共施設に「広報あびこ」を配置し、多くの方の目に触れるようにしています。全戸配布ができれば望ましいと考えておりますが、今後も様々な方法で情報提供に努めてまいります。

市長：情報伝達の多様化に伴い、若い人はほとんど新聞を取らなくなっています。市では、どうやって家に広報紙を配るかを検討しました。市民の方々からも様々な

ご意見をいただきました。東京では駅に置いてあるから、我孫子市でも駅に置いたらどうか、という意見や宅配しても見ているのか、という意見もありました。今は、スマホでも広報が読めます。それ以外の方も見られるように駅・近隣センター・郵便局に広報紙を配置する形をとっています。また、月 2 回の広報紙を、新聞業者にお願いをしてポスティングも行っています。しかし、郵便料金も値上がりしていますので、いろんな手法を検討しているところです。スマホ版で十分という若い世代も多くいるという事実もご理解していただきながら、今後も効果的な情報発信の方法を模索してまいります。

市 民：気になったのは、スマホが出来なくて、家にいてほとんど外に出ていない人が心配ですが、そういったことしかないということでは、仕方がないと思います。本当にそれしかないのでしょうか。

市 長：新聞を取ってもらえれば、無料で届きます。買い物などで外出された時などは、近隣センターや行政サービスセンター、郵便局など近くの公共施設等でご利用くださればと思います。

市 民：広報紙の広告欄についてですが、市民広場という掲載欄などに市民団体の教室のお知らせが載っていますが、これについて、有料にすることを提案します。自治会やまちづくり協議会以外の団体を対象にして少額でもいいと思います。

企画総務部長：収入を増やさないといけないのはおっしゃる通りで、広報に民間の広告を掲載しておりますが、限られた枠なので、どれだけ載せられるのかになります。今は 1 面 3 枠、1 枠 2 万円で実施しております。広報紙の予算は年間 4,000 万円ほどかかり、歳入では数百万円となりますので、ペイするのは大変難しい状況ですが、広報の性質は収支の視点とは異なるものだと考えています。そういった中で、ご提案頂いた市民伝言板の部分における市民団体の広告を有料化にすることについては、参考にさせていただきながら、検討したいと思います。

#### ●南新木交差点付近の道路拡幅状況について

市 民：国道 356 号から下新木踏切に向かう交差点の道路拡幅について、進捗状況

を教えてください。通学路として危険な状態が続いています。

建設部長：下新木踏切に向かう交差点の道路拡幅については、一部は拡幅できているのですが、踏切から国道 356 号に向かうところについては、地権者との協議はあまり進んでおりません。通学路になっておりますので、危険という認識は持っています。引き続き、地権者との協議を進めていきます。

市長：まったく進んでいない状況ですが、年に何回か職員がご挨拶に伺っております。協力してくれると言ってくれるまで、あきらめずに地権者との交渉を続けているということをご報告させていただきます。

市民：難しいのはわかっています。継続してほしいと思います。ありがとうございました。

#### ●クリーンセンターのゴミ処理方法について

市民：資料の P3 のクリーンセンターでのゴミ処理方法について質問です。溶融炉は導入していないのでしょうか。ゴミ処理したものを再度焼くことによって、それが再資源となるのですが。

環境経済部長：現在、我孫子市では溶融炉は導入していません。焼却灰は最終的に主灰と飛灰にして、市外の処分場で処理しています。

市長：以前と同じようにストーカ方式で行っています。15 年前の震災の際、溶融炉を導入していた市でゴミを焼却した際、放射能濃度が多く出て、産廃処理をどこも受け付けてくれなかったと聞きました。我孫子はストーカ方式だったため、そこまで放射能の濃度が高くなく、処理も大変ではありませんでした。その件を踏まえて、今回もストーカ方式を採用しました。また、ゴミの熱を電気にして、余剰電力を売電することで、1 億 5,000 万円程度の歳入を得ています。溶融炉が震災前に流行っていたのは知っていますが、放射能濃度の件もあったので、溶融炉の選択はなかったということです。

### ●我孫子4丁目地区の浸水対策について

市 民：我孫子4丁目地区の浸水対策について、今日現在ではどの程度考えているか。  
具体的にどのような計画がありますか、お聞きしたい。

建設部長：我孫子4丁目地区については、既に調整池を整備していますが、大雨時の  
浸水被害軽減にはまだ課題があります。今年度と来年度の2か年で詳細な調査を  
行い、その結果を踏まえて追加の対策を検討する予定です。

### ●湖北小学校体育館について

市 民：湖北小学校の体育館についてです。建設をするにあたって、ゼロエネルギー  
体育館も検討しているのでしょうか。

市 長：湖北小学校の体育館は基本的には、前回と同じように作る予定です。学校の  
設備を作るときの補助金が少なく、苦慮していますが、そういった中で、補助率の  
高いものを探っています。去年から資材も人件費も高騰しているので、特別な形で  
はなく、通常の形で60年程度使えるものを作っていく予定です。1日も早く作り  
たいと考えております。目標としましては、今の5年生が、新しい体育館で卒業式  
ができるようにしたいと思っています。また、隣接地の民家とも少し離して立て直  
す予定です。なお、再建に向け、多くの寄付をいただきまして、誠にありがとうご  
ざいました。感謝申し上げます。